



阿賀野市立 京ヶ瀬中学校

～ <http://kyogase-jhs.agano.ed.jp/> ～

京ヶ瀬中学校

〒959-2123
阿賀野市姥ヶ橋739
TEL.0250-67-2004

2020-12号

令和2年3月25日発行

ご支援とご協力、ありがとうございました

校長 三 膳 章

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校対応等に対し、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、日増しに暖かくなってきました。春の訪れを感じます。3月は新たな生活に向けて希望を抱く季節であります。

そんな中、3月4日（水）午前、当校体育館において第73回卒業証書授与式が行われ、56名の卒業生が母校を巣立っていきました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式次第の縮小変更や保護者・在校生不在対応の中、卒業生は一人の欠席もなく全員そろって、ステージ上での卒業証書授与が行われました。卒業式予行練習も十分に行うことができない状況でしたが、卒業生は、きちんとした態度で臨み、しっかりとした返事や心のこもった立ち振る舞いなど、素晴らしい卒業証書授与となりました。また、在校生代表の副会長青木瑞樹さんの送辞（代読：清野善一教諭）では、卒業生への感謝と伝統を受け継ぐ1・2年生の決意が述べられました。その後、卒業生代表の前生徒会長出戸大翔さんの答辞では、中学校生活を振り返っての想いと新たな出発にあたっての抱負等が述べられました。臨時休校等によって様々なことが変更する中で、あらためて、卒業生の「対応力」と「実力」を実感するとともに、感動的な素晴らしい卒業式となりました。



明日からも引き続き、学校は休み期間（本来の春休み期間）です。今まで以上に、事故や怪我、そして、健康に気を付けて過ごしてください。今後も、部活動は再開できず、家庭での生活が中心となります。なかなか見通しが立たない状況ですが、今年度の1年間をしっかりと振り返り、新たな学校生活、新たな学年での生活に向け、今日から目標をもって取り組みましょう。具体的には、自主学習や読書、家での手伝いなど、自ら課題をもって生活してください。

今年度も、私たち職員は、生徒の気持ちと心に寄り添い、「全職員で全ての生徒を育てる」を確認し合い、丁寧に向き合ってきました。ご家庭や地域の皆様方には、当校へのご理解とご協力に深く感謝いたします。そして、来年度も、「子どもたちが成長する」ことへのご支援とご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

送 辞 在校生代表 青木 瑞樹 (一部抜粋)

56名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは、どんな時でも先頭に立って、京ヶ瀬中学校を引っ張って行ってくださいました。その姿は、私たち1・2年生の目標であり憧れでもありました。〔中略〕

晴天の下、行われた秋桜祭は、全員が一丸となって取り組みました。各連合の応援団長を中心に、何度も何度も練習した応援パフォーマンス。分からないことがあると一つ一つ丁寧に教えてくださいました。パネル作りでの粘り強く作業に取り組む姿、競技での最後まで全力を尽くす姿を目の当たりにし、競技にも応援にも熱が入りました。皆さんのやる気と熱意に引っ張られて、私たち1・2年生も団結して精一杯頑張ることができました。

生徒会や専門委員会の活動では、生徒会スローガン「Progress～さらに輝く京中～」のとおり、この京ヶ瀬中学校の一年間は、発展・進歩・前進の年になりました。〔中略〕

私たち1・2年生は、これまで、皆さんが築き上げてきた歴史を私たちがしっかり引き継ぎ、京ヶ瀬中学校の輝かしい歴史の新たな1ページを刻めるよう頑張ります。

卒業生の皆さんには、様々な場面でお世話になりました。在校生一同、感謝の気持ちでいっぱいです。いままで本当にありがとうございました。

答 辞 卒業生代表 出戸 大翔 (一部抜粋)

今日、私たち56名は京ヶ瀬中学校を卒業します。いつものような卒業式にはなりませんでした。先生方、この様な素晴らしい式典を催していただきありがとうございます。

今までを振り返ってみると、あっという間に過ぎた三年間。本当にたくさんの出来事がありました。三年前、着慣れない制服を身にまとい、この体育館で臨んだ入学式。はじめて出会う先生、初めての行事、全てのものが新鮮で、大きな刺激を受けました。そして、多くの先輩や後輩、先生、仲間との出会いの中で、多くの事を学び、大きく成長しました。〔中略〕

すると、あっという間に三年生に。最後の地区大会、最後の秋桜祭、最後の合唱コンクール…。一つ一つが全て、中学校生活最後のものになりました。〔中略〕

先生方、私たちを信じ、大きな愛をもって、時にはたくさん叱ってくださり、時には悩みを聞いてくださり、そして、最後まで私たちに正しい道を示し、私たちの支えになってくださいました。ありがとうございました。

三年生のみんな。たくさん笑いあって、支えあって、時には涙を流して。行事のたびにぶつかりあって。でも最後には一つになって。これから先、誰もが大きな困難にぶつかることがあるでしょう。先が見えず不安になってしまうこともあるでしょう。それでも、私たちはどこにいても輝ける。何があっても、周りには助けてくれる仲間がいるはず。どんな環境でも思いっきり輝いていこう。そして、また必ず、笑顔で会おう。大人になっても、今と変わらない笑顔で会えることを願っています。私たちは、感謝の気持ちを忘れず、それぞれの道へ進んでいきます。

